

平成 2 4 年 度
決 算 報 告 書

(第 4 8 期 平成 2 4 年 4 月 1 日)
 平成 2 5 年 3 月 3 1 日

貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	4,171,194,456	3,158,992,908	1,012,201,548
貸付金	19,141,927,125	20,497,347,875	△ 1,355,420,750
立替金	1,400,000	2,300,000	△ 900,000
前払金	1,500	1,000	500
前払費用	49,600	0	49,600
未収金	220,208,394	162,751,165	57,457,229
貸倒引当金	△ 1,068,981,000	△ 1,315,680,000	246,699,000
流動資産合計	22,465,800,075	22,505,712,948	△ 39,912,873
2 固定資産			
(1) 基本財産			
預 金	770,000	770,000	0
投資有価証券	239,230,000	239,230,000	0
基本財産合計	240,000,000	240,000,000	0
(2) 特定資産			
融資システム移行費用積立資産	51,240,000	0	51,240,000
サーバ機器購入積立資産	21,945,000	0	21,945,000
特定資産合計	73,185,000	0	73,185,000
(3) その他固定資産			
建 物	1,336,779	1,624,737	△ 287,958
什器備品	1,220,029	1,010,158	209,871
電話加入権	34,000	34,000	0
ソフトウェア	8,537,500	9,530,500	△ 993,000
投資有価証券	1,207,687,000	1,207,687,000	0
長期前払費用	169,467	0	169,467
前払年金費用	16,123,661	16,275,499	△ 151,838
その他の固定資産	150,000	150,000	0
その他固定資産合計	1,235,258,436	1,236,311,894	△ 1,053,458
固定資産合計	1,548,443,436	1,476,311,894	72,131,542
資 産 合 計	24,014,243,511	23,982,024,842	32,218,669
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	12,036,873	7,127,852	4,909,021
未払法人税等	23,700	25,000	△ 1,300
未払消費税等	40,500	318,800	△ 278,300
前受金	21,350,580	22,422,282	△ 1,071,702
預り金	19,136,104	19,009,648	126,456
1年内返済予定長期借入金	23,600,000,000	23,600,000,000	0
賞与引当金	18,349,548	18,234,116	115,432
流動負債合計	23,670,937,305	23,667,137,698	3,799,607
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	23,670,937,305	23,667,137,698	3,799,607
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	323,306,206	294,887,144	28,419,062
(うち基本財産への充当額)	(220,000,000)	(220,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(73,185,000)	(0)	(73,185,000)
正味財産合計	343,306,206	314,887,144	28,419,062
負債及び正味財産合計	24,014,243,511	23,982,024,842	32,218,669

正味財産増減計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	4,689,534	3,730,232	959,302
② 事業収益	611,618,860	687,801,242	△ 76,182,382
経営活性化貸付金利息	468,053,588	496,331,213	△ 28,277,625
創業・事業展開支援貸付金利息	27,870,194	32,880,718	△ 5,010,524
商店街活性化貸付金利息	1,080,276	1,432,350	△ 352,074
ものづくり設備導入貸付金利息	2,983,665	3,880,920	△ 897,255
経営支援貸付金利息	1,493,945	3,746,787	△ 2,252,842
償却債権回収金	109,337,192	132,360,834	△ 23,023,642
名古屋市設備投資促進補助事業 受託料	800,000	—	800,000
地域中小商店販売力強化支援事業 受託料	—	17,168,420	△ 17,168,420
③ 受取補償金	206,529,050	149,651,125	56,877,925
損失補償金	206,529,050	149,651,125	56,877,925
④ 雑収益	23,532,098	19,389,656	4,142,442
経常収益計	846,369,542	860,572,255	△ 14,202,713
(2) 経常費用			
① 事業費	768,898,384	755,315,547	13,582,837
人件費	271,617,674	278,506,185	△ 6,888,511
物件費	60,856,711	65,061,835	△ 4,205,124
借入金利息	93,039,999	34,854,027	58,185,972
貸倒引当金繰入額	343,384,000	376,893,500	△ 33,509,500
② 管理費	49,044,038	57,152,444	△ 8,108,406
人件費	40,238,893	49,301,867	△ 9,062,974
物件費	8,805,145	7,850,577	954,568
経常費用計	817,942,422	812,467,991	5,474,431
評価損益等調整前当期経常増減額 (A)	28,427,120	48,104,264	△ 19,677,144
評価損益等計 (B)	0	0	0
当期経常増減額 (C) (A+B)	28,427,120	48,104,264	△ 19,677,144
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	8,058	0	8,058
経常外費用計	8,058	0	8,058
当期経常外増減額 (D)	△ 8,058	0	△ 8,058
当期一般正味財産増減額 (E) (C+D)	28,419,062	48,104,264	△ 19,685,202
一般正味財産期首残高 (F)	294,887,144	246,782,880	48,104,264
一般正味財産期末残高 (G) (E+F)	323,306,206	294,887,144	28,419,062
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	462,027	320,000	142,027
② 一般正味財産への振替額	△ 462,027	△ 320,000	△ 142,027
当期指定正味財産増減額 (H)	0	0	0
指定正味財産期首残高 (I)	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産期末残高 (J) (H+I)	20,000,000	20,000,000	0
III 正味財産期末残高 (K) (G+J)	343,306,206	314,887,144	28,419,062

(注) 融資制度改編により、前年度決算額は当年度決算額の科目に対応させて組み替えて表示しています。

正味財産増減計算書内訳表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
	融資事業		
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	0	4,689,534	4,689,534
基本財産運用益	0	4,227,507	4,227,507
基本財産運用益振替額	0	462,027	462,027
② 事業収益	567,384,586	44,234,274	611,618,860
経営活性化貸付金利息	426,767,314	41,286,274	468,053,588
創業・事業展開支援貸付金利息	25,412,194	2,458,000	27,870,194
商店街活性化貸付金利息	985,276	95,000	1,080,276
ものづくり設備導入貸付金利息	2,720,665	263,000	2,983,665
経営支援貸付金利息	1,361,945	132,000	1,493,945
償却債権回収金	109,337,192	0	109,337,192
名古屋市設備投資促進補助事業受託料	800,000	0	800,000
③ 受取補償金	206,529,050	0	206,529,050
損失補償金	206,529,050	0	206,529,050
④ 雑収益	23,411,868	120,230	23,532,098
受取利息	23,061	0	23,061
有価証券運用益	23,388,807	0	23,388,807
雑収益	0	120,230	120,230
経常収益計	797,325,504	49,044,038	846,369,542
(2) 経常費用			
① 事業費	768,898,384		768,898,384
(人件費)	271,617,674		271,617,674
役員報酬	1,050,000		1,050,000
給料手当	194,897,344		194,897,344
通勤手当	5,027,198		5,027,198
退職給付費用	31,038,146		31,038,146
福利厚生費	39,604,986		39,604,986
(物件費)	60,856,711		60,856,711
調査費	2,923,130		2,923,130
施策普及費	1,744,113		1,744,113
債権管理費	10,153,310		10,153,310
委託費	1,266,956		1,266,956
会議費	650,973		650,973
旅費交通費	249,770		249,770
通信費	2,793,081		2,793,081
水道光熱費	1,379,666		1,379,666
燃料費	393,255		393,255
消耗品費	1,048,744		1,048,744
租税公課	3,428,955		3,428,955
修繕費	74,230		74,230
賃借料	25,121,304		25,121,304
印刷費	883,859		883,859
図書費	733,754		733,754
保険料	300,210		300,210
支払手数料	1,477,427		1,477,427
研修費	355,557		355,557
雑費	890,500		890,500
減価償却費	4,987,917		4,987,917
(借入金利息)	93,039,999		93,039,999
借入金利息	93,039,999		93,039,999
(貸倒引当金繰入額)	343,384,000		343,384,000
貸倒引当金繰入額	343,384,000		343,384,000

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
	融資事業		
② 管理費		49,044,038	49,044,038
(人件費)		40,238,893	40,238,893
役員報酬		16,393,326	16,393,326
給料手当		14,440,129	14,440,129
通勤手当		807,388	807,388
退職給付費用		2,480,075	2,480,075
福利厚生費		6,117,975	6,117,975
(物件費)		8,805,145	8,805,145
委託費		844,637	844,637
会議費		51,960	51,960
旅費交通費		57,463	57,463
通信費		391,692	391,692
水道光熱費		243,471	243,471
消耗品費		252,684	252,684
租税公課		474,544	474,544
修繕費		3,270	3,270
賃借料		2,715,172	2,715,172
接待交際費		24,524	24,524
印刷費		97,710	97,710
図書費		137,224	137,224
支払手数料		3,147,010	3,147,010
研修費		66,586	66,586
雑費		211,086	211,086
減価償却費		86,112	86,112
經常費用計	768,898,384	49,044,038	817,942,422
評価損益等調整前当期経常増減額 (A)	28,427,120	0	28,427,120
評価損益等計 (B)	0	0	0
当期経常増減額 (C) (A+B)	28,427,120	0	28,427,120
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	22	8,036	8,058
固定資産除却損	22	8,036	8,058
経常外費用計	22	8,036	8,058
当期経常外増減額 (D)	△ 22	△ 8,036	△ 8,058
他会計振替額 (E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額 (F) (C+D+E)	28,427,098	△ 8,036	28,419,062
一般正味財産期首残高 (G)	70,440,875	224,446,269	294,887,144
一般正味財産期末残高 (H) (F+G)	98,867,973	224,438,233	323,306,206
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	0	462,027	462,027
基本財産運用益	0	462,027	462,027
② 一般正味財産への振替額	0	△ 462,027	△ 462,027
一般正味財産への振替額	0	△ 462,027	△ 462,027
当期指定正味財産増減額 (I)	0	0	0
指定正味財産期首残高 (J)	0	20,000,000	20,000,000
指定正味財産期末残高 (K) (I+J)	0	20,000,000	20,000,000
III 正味財産期末残高 (L) (H+K)	98,867,973	244,438,233	343,306,206

キャッシュ・フロー計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1 当期一般正味財産増減額 (A)	28,419,062	48,104,264	△ 19,685,202
2 キャッシュ・フローへの調整額			
① 減価償却費	5,074,029	5,043,499	30,530
② 固定資産除却損	8,058	0	8,058
③ 貸倒引当金の増減額	△ 246,699,000	△ 221,711,000	△ 24,988,000
④ 前払年金費用の増減額	151,838	785,655	△ 633,817
⑤ 賞与引当金の増減額	115,432	△ 909,414	1,024,846
⑥ 貸付金の増減額	1,355,420,750	1,398,756,500	△ 43,335,750
⑦ 立替金の増減額	900,000	△ 1,496,330	2,396,330
⑧ 前払金の増減額	△ 500	△ 1,000	500
⑨ 前払費用の増減額	△ 49,600	88,000	△ 137,600
⑩ 未収金の増減額	△ 57,457,229	△ 61,090,762	3,633,533
⑪ 長期前払費用の増減額	△ 169,467	0	△ 169,467
⑫ 未払金の増減額	4,909,021	1,383,569	3,525,452
⑬ 未払法人税等の増減額	△ 1,300	△ 41,000	39,700
⑭ 未払消費税等の増減額	△ 278,300	318,800	△ 597,100
⑮ 前受金の増減額	△ 1,071,702	△ 1,478,393	406,691
⑯ 預り金の増減額	126,456	△ 4,032,680	4,159,136
⑰ 指定正味財産からの振替額	△ 462,027	△ 320,000	△ 142,027
小 計 (B)	1,060,516,459	1,115,295,444	△ 54,778,985
3 指定正味財産増加収入			
① 基本財産運用収入	462,027	320,000	142,027
指定正味財産増加収入計 (C)	462,027	320,000	142,027
事業活動によるキャッシュ・フロー (D) <A+B+C>	1,089,397,548	1,163,719,708	△ 74,322,160
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 投資活動収入			
① 3ヶ月超定期預金満期収入	70,000,000	70,000,000	0
投資活動収入計	70,000,000	70,000,000	0
2 投資活動支出			
① 固定資産取得支出	4,011,000	1,080,000	2,931,000
② 特定資産取得支出			
融資システム移行費用積立資産取得支出	51,240,000	0	51,240,000
サーバ機器購入積立資産取得支出	21,945,000	0	21,945,000
③ 3ヶ月超定期預金預入支出	70,000,000	70,000,000	0
投資活動支出計	147,196,000	71,080,000	76,116,000
投資活動によるキャッシュ・フロー (E)	△ 77,196,000	△ 1,080,000	△ 76,116,000
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 財務活動収入			
① 借入金収入	23,600,000,000	23,600,000,000	0
財務活動収入計	23,600,000,000	23,600,000,000	0
2 財務活動支出			
① 借入金返済支出	23,600,000,000	23,600,000,000	0
財務活動支出計	23,600,000,000	23,600,000,000	0
財務活動によるキャッシュ・フロー (F)	0	0	0
IV 現金及び現金同等物の増減額 (G) <D+E+F>	1,012,201,548	1,162,639,708	△ 150,438,160
V 現金及び現金同等物の期首残高 (H)	3,088,992,908	1,926,353,200	1,162,639,708
VI 現金及び現金同等物の期末残高 (I) <G+H>	4,101,194,456	3,088,992,908	1,012,201,548

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券については、償却原価法（定額法）によっている。ただし、額面と取得価額の差額に重要性が乏しい場合、取得価額で記載している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・有形固定資産
定率法によっている。
 - ・無形固定資産
定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・貸倒引当金
貸倒引当金は、個別評価債権と一般債権に分類し、過去の一定期間における各々の貸倒実績率等に基づき算出した額から、名古屋市による貸倒償却に対する損失補償割合を控除して計上している。
 - ・退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。
 - ・賞与引当金
職員の賞与の支給等に備えるため、賞与支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (4) リース取引の処理方法
重要性の乏しいリース取引以外については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。なお、リース契約日が平成20年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。
- (6) 消費税等の会計処理
税抜方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	770,000	0	0	770,000
投資有価証券	239,230,000	0	0	239,230,000
小 計	240,000,000	0	0	240,000,000
特定資産				
融資システム移行費用積立資産	0	51,240,000	0	51,240,000
サーバ機器購入積立資産	0	21,945,000	0	21,945,000
小 計	0	73,185,000	0	73,185,000
合 計	240,000,000	73,185,000	0	313,185,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当額)	(うち一般正味 財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	770,000	(0)	(770,000)	—
投資有価証券	239,230,000	(20,000,000)	(219,230,000)	—
小 計	240,000,000	(20,000,000)	(220,000,000)	—
特定資産				
融資システム移行費用積立資産	51,240,000	(0)	(51,240,000)	—
サーバ機器購入積立資産	21,945,000	(0)	(21,945,000)	—
小 計	73,185,000	(0)	(73,185,000)	—
合 計	313,185,000	(20,000,000)	(293,185,000)	—

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
有形固定資産			
建物	4,705,100	3,368,321	1,336,779
什器備品	16,526,700	15,306,671	1,220,029
無形固定資産			
ソフトウェア	21,930,000	13,392,500	8,537,500
合 計	43,161,800	32,067,492	11,094,308

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種 類 及 び 銘 柄	帳簿価額	時 価	評価損益
基本財産			
地方債（名古屋市平成16年度第1回事業公債）	130,000,000	132,951,000	2,951,000
地方債（名古屋市第12回し号公募公債）	109,230,000	113,036,000	3,806,000
小 計	239,230,000	245,987,000	6,757,000
投資有価証券			
地方債（名古屋市第12回し号公募公債）	297,900,000	308,280,000	10,380,000
地方債（名古屋市平成17年度第2回事業公債）	200,000,000	211,820,000	11,820,000
地方公社債（第84回名古屋高速道路債券）	709,787,000	725,215,300	15,428,300
小 計	1,207,687,000	1,245,315,300	37,628,300
合 計	1,446,917,000	1,491,302,300	44,385,300

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
損失補償金	名古屋市	149,651,125	206,529,050	149,651,125	206,529,050	未収金
合 計		149,651,125	206,529,050	149,651,125	206,529,050	—

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益振替額	462,027
合 計	462,027

8 キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は、次のとおりである。

(単位：円)

前 期 末		当 期 末	
現金預金勘定	3,158,992,908	現金預金勘定	4,171,194,456
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 70,000,000	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 70,000,000
現金及び現金同等物	3,088,992,908	現金及び現金同等物	4,101,194,456

(2) 重要な非資金取引 該当なし

9 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として、退職一時金制度及び確定給付企業年金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

① 退職給付債務	△ 340,408,292
② 年金資産	356,531,953
③ 前払年金費用	16,123,661
④ 退職給付引当金 (①+②-③)	0

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

① 勤務費用	33,518,221
② 退職給付費用	33,518,221

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

10 ファイナンス・リース取引関係

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位：円)

	什器備品
取得価額相当額	31,653,832
減価償却累計額相当額	31,126,099
期末残高相当額	527,733

(2) 未経過リース料期末残高相当額

(単位：円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	556,017	0	556,017

(3) 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

(単位：円)

支払リース料	6,686,160
減価償却費相当額	6,330,732
支払利息相当額	89,850

(4) 減価償却費相当額の算定方法は、定額法によっている。

(5) 利息相当額の算定方法は、リース料総額とリース資産計上価額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっている。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表に対する注記2に記載しているため、内容の記載を省略する。

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	18,234,116	18,349,548	18,234,116	0	18,349,548
貸倒引当金	1,315,680,000	1,068,981,000	590,083,000	725,597,000	1,068,981,000

財 産 目 録

平成25年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)				
現金預金	〈現金〉	○融資事業 手元保管	運転資金として 256,581	
	〈当座預金〉	○融資事業 三菱東京UFJ銀行今池支店 1口	運転資金として 54,942,120	
	〈普通預金〉	○融資事業 三菱東京UFJ銀行柳橋支店始め8口	運転資金として 4,038,507,692	
		○法人会計 三菱東京UFJ銀行柳橋支店 1口	運転資金として 4,906,881	
	〈郵便振替〉	○融資事業 ゆうちょ銀行 1口	運転資金として 2,581,182	
	〈定期預金〉	○融資事業 名古屋銀行本店始め7口	運転資金として 70,000,000	
			〈現金預金計〉	
			4,171,194,456	
	貸付金	○融資事業 経営活性化資金融資 4,596件 (うち特別支援資金 9件 9,338,000円)	経営活性化資金融資の残高	17,779,034,000
		創業・事業展開支援資金融資 381件	創業・事業展開支援資金融資の残高	1,003,035,000
		商店街活性化促進資金融資 11件	商店街活性化促進資金融資の残高	45,049,000
		ものづくり設備導入資金融資 64件 (うち特別資金 48件 179,718,000円) (うち機械類貸与 16件 105,866,125円)	ものづくり設備導入資金融資の残高	285,584,125
		経営支援特別資金融資 38件	経営支援特別資金融資の残高	29,225,000
			〈貸付金計〉	
			19,141,927,125	
立替金	○融資事業 名古屋地方裁判所 2件	相続財産管理人選任予納金等	1,400,000	
前払金	○融資事業 名古屋市交通局 1件	マナカ発行保証金	500	
	○法人会計 名古屋市交通局 2件	マナカ発行保証金	1,000	
		〈前払金計〉		
		1,500		
前払費用	○融資事業 (株)富士通マーケティング 1件	開発用サーバ保守料	49,600	
未収金	○融資事業 名古屋市 1件 未収利息 736件 名古屋市公債始め3銘柄	損失補償金の未収入額 経営活性化資金融資等の未収利息 名古屋市公債始め3銘柄の経過利息	206,529,050 8,426,945 4,293,057	
	○法人会計 名古屋市公債始め2銘柄	名古屋市公債始め2銘柄の経過利息	959,342	
		〈未収金計〉		
		220,208,394		
貸倒引当金	○融資事業	貸付金の貸倒に備るための引当金	△ 1,068,981,000	
流動資産合計			22,465,800,075	
(固定資産)				
基本財産	預 金	○法人会計 三菱東京UFJ銀行柳橋支店 1口	運用益を管理運営の財源として使用 している 770,000	
	投資有価証券	○法人会計 名古屋市平成16年度第1回事業公債 始め2銘柄	運用益を管理運営の財源として使用 している 239,230,000	
		〈基本財産計〉		
		240,000,000		
特定資産	融資システム移行費用 積立資産 〈普通預金〉	○融資事業 三菱東京UFJ銀行柳橋支店 1口	融資システムのサーバ化移行費用として 積み立てている特定費用準備資金 51,240,000	
	サーバ機器購入 積立資産 〈普通預金〉	○融資事業 三菱東京UFJ銀行柳橋支店 1口	融資システムのサーバ機器購入のため 積み立てている資産取得資金 21,945,000	
		〈特定資産計〉		
		73,185,000		
その他 固定資産	建 物	○融資事業、法人会計共用 名古屋市千種区吹上二丁目6番3号 5階 〈建物附属設備〉 5階事務室改装 1点	(共用財産) うち85%を公益目的保有財産として 融資事業に使用している うち15%を管理運営に使用している 1,124,943	
		○融資事業 〈建物附属設備〉 簡易間仕切始め4点	公益目的保有財産として融資事業に 使用している 198,519 13,316	

(単位:円)


貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
什器備品	電話加入権	○法人会計 〈建物附属設備〉簡易間仕切 1点	管理運営に使用している 〈建物計〉	1 1,336,779	
		○融資事業、法人会計共用 耐火金庫始め17点	(共用財産) うち85%を公益目的保有財産として 融資事業に使用している うち15%を管理運営に使用している	422,306 74,524	
		○融資事業 耐火金庫始め12点	公益目的保有財産として融資事業に 使用している	723,187	
		○法人会計 事務机始め12点	管理運営に使用している 〈什器備品計〉	12 1,220,029	
		○融資事業、法人会計共用 電話回線17本	(共用財産) うち85%を公益目的保有財産として 融資事業に使用している うち15%を管理運営に使用している 〈電話加入権計〉	28,900 5,100 34,000	
		ソフトウェア	○融資事業 コンピュータ制作費 6件	公益目的保有財産として融資事業に 使用している	8,537,500
		投資有価証券	○融資事業 名古屋市第12回し号公募公債 始め3銘柄	運用益を融資事業の財源として使用 している	1,207,687,000
		長期前払費用	○融資事業 (附)富士通マーケティング 1件	開発用サーバ保守料	169,467
		前払年金費用	○融資事業 日本生命保険相互会社	退職給付会計による確定給付企業 年金制度の年金資産超過額	14,939,413
		その他の固定資産	○法人会計 日本生命保険相互会社	退職給付会計による確定給付企業 年金制度の年金資産超過額 〈前払年金費用計〉	1,184,248 16,123,661
	○融資事業 名古屋地方裁判所 1件	不動産仮差押供託金	150,000		
固定資産合計				1,548,443,436	
資産合計				24,014,243,511	
(流動負債)					
未払金	未払法人税等	○融資事業 業者等に対する未払額	3月分事務室共益費・電気料等	11,087,153	
		○法人会計 業者等に対する未払額	3月分振込手数料等 〈未払金計〉	949,720 12,036,873	
		○法人会計 平成24年度法人市民税の未払額	平成24年度法人市民税納付額	23,700	
		○融資事業 平成24年度消費税等の未払額	平成24年度消費税等納付額	35,249	
		○法人会計 平成24年度消費税等の未払額	平成24年度消費税等納付額 〈未払消費税等計〉	5,251 40,500	
		前受金	○融資事業 未経過利息 3,513件	経営活性化資金融資等の未経過利息	21,350,580
		預り金	○融資事業 預り保証金 融資事業の預り金 職員等からの預り金	機械類貸与の預り保証金 貸付償還金の少額過納金等 3月分住民税等 〈預り金計〉	9,981,000 8,168,863 986,241 19,136,104
		1年内返済予定 長期借入金	○融資事業 名古屋市 1件	融資事業のための借入金	23,600,000,000
		賞与引当金	○融資事業 職員に対するもの	融資事業に従事する職員に対する賞与 支給見込額等のうち当期に帰属する額	16,922,365
			○法人会計 職員に対するもの	法人会計に従事する職員に対する賞与 支給見込額等のうち当期に帰属する額 〈賞与引当金計〉	1,427,183 18,349,548
流動負債合計				23,670,937,305	
固定負債合計				0	
負債合計				23,670,937,305	
正味財産				343,306,206	

監査報告書

平成25年5月17日

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社
理事長 斯波 薫 様

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社

監事 加藤 博久 

私は、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの事業年度の監査を行いましたので、その方法及び結果について以下のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人の業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度にかかる事業報告について検討しました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第42条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度にかかる計算書類及びその附属明細書並びに財産目録及びキャッシュ・フロー計算書について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告書の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録及びキャッシュ・フロー計算書の監査結果

会計監査人後藤貞明公認会計士の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

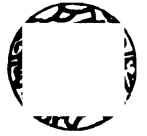
独立監査人の監査報告書

平成 25 年 5 月 10 日

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社
理事長 斯波 薫 殿

後藤公認会計士事務所
公認会計士

後藤貞明



<財務諸表監査>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社の平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの平成 24 年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドライン I-5 (1) の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人の平成 25 年 3 月 31 日現在の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財産目録を作成することにある。

監査人の責任

私の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、貸借対照表及び公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、貸借対照表及び公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上